

【外来魚を活かしたい】

北岡龍ノ助 小学3年

《自己紹介》

僕は小さい頃から生き物がとても好きです。特に水辺の生物が大好きです。その中で危険生物のカミツキガメに興味を持ち調べると「特定外来生物」に指定されていることが分かりました。僕は「特定外来生物」ってどんな生き物なんだろうと思いました。



調べて見ると外来生物は日本の在来種を脅かして 池や川や湖など生態系を崩し、農林水産業に悪影響を与えたり、人の生活に被害を与えていることを知りました。水辺の生物、魚にも外来種(外来魚)がいることを知り、外来種問題にとっても興味を持ちました。



外来魚は今、日本で問題になっているということ僕は本やテレビで知りました。在来種のすみかをうばったり、食べてしまったり、交雑をして雑種を生み出してしまったりして問題になっています。外来魚は環境の変化に強く、非常に繁殖力も強いのでこれ以上増えると大変です。なので僕は外来魚は悪い生物だと思いました。しかし外来魚は日本に行きたくて来たわけではないということも知りました。人の都合で連れてこられた外来魚が悪いのではなく人間が問題を引き起こしたことも分かりました。でも駆除をしなければ日本の生態系が崩れてしまうので、外来魚の良いところを見つけて駆除した後、なにか活かしてあげたいと僕は思いました。

《外来魚の良いところを活かしたい》

外来魚の良いところ

- ・食用にできる
- ・栄養がいっぱい
- ・環境の変化に強い

・雑食性

《僕の考える外来魚の活かし方》

・外来魚のサプリメントを作りたい

外来魚は栄養がたくさんあります。

ブラックバスとブルーギルはタウリンという成分が多く、栄養ドリンクによく入っていて、つかれている体を元気にします。そのほかに若返りの栄養素のビタミンEや骨や歯を強くするカルシウム、皮膚や筋肉にとっても良いタンパク質が豊富です。

外来魚はさばいて食べる事もできますが、見た目がちょっと気持ちが悪いなと思ってしまうので、見た目がわからないようにして手軽に食べれるサプリメントにしたらいろいろな人が食べられると思います。

・アクアポニックス市場を作りたい

僕はテレビでテラピニアを利用したアクアポニックスを見ました。

外来魚の環境の変化に強く、雑食性で食用にできるという良さが活かされていて、さらに野菜も育てられられていてすごいと思いました。YouTubeで調べて、僕も自宅でアクアポニックスを作って(魚はモツゴとオイカワやどじょうやスジエビ)大葉とバジルを育てておいしく食べれました。琵琶湖や霞ヶ浦、田沢湖など外来魚の多い湖の近くにアクアポニックス市場を作って、その野菜や外来魚を売ってお金にして、そのお金で湖の環境を良くしたいです。



《まとめ》

僕は食物連鎖ということを学校で習ってから、外来魚が生きていくために在来種を食べることは自然なことだと思いました。でも生態系を守るためには外来魚を増やさないと駆除しなければならないです。僕は生き物が好きなので駆除だけして命をうばうのはやっぱり悲しくなります。外来魚は問題もあるけれど、いいところもあることを知ってもらいたいです。多くの人に外来魚の問題のことをもっと知ってもらい、人が生き物をもっと大切に守っていくことが大事だと思いました。

